

講義「漢字コードの話」小澤義明（大計算機センター技官）

実習 データベース検索（3）

第5日：10月5日（金）

講義「大学間ネットワークサービス」櫻井恒正（大計算機センター技官）

講義「情報ネットワーク」金澤正憲（大計算機センター助教授）

質疑応答

閉講式：人文科学研究所附属東洋学文献センター長

受講者から寄せられた主な感想は次のとおりである。

1. 自館の電算化を考えた上で参考になり、有意義な講習会であった。
2. 人文科学における JIS 漢字の範囲を越えた漢字処理を実践しているデータベースにふれて、大変参考になった。
3. 将来における人文関係の古典や参考図書の電算化、特に CD-ROM 化に興味をもてるようになった。
4. 漢字の電算処理に関する講義は参考になった。
5. CHINA3 をはじめとするデータベースを実際に検索できたのでよかった。
6. 実習に割り当てられた端末をもっと増やしてほしい。

（人文科学研究所附属東洋学文献センター）

「平成2年度漢籍担当職員講習会（中級）」の開催

大学図書館、公共図書館、その他の図書館施設等において、漢籍の整理等の業務に従事する図書館職員に、漢籍の取り扱いに関する知識と技術を普及し、学術資料としての漢籍の有効な利用体制の整備に資することを目的とした講習会である。中級は4年に一度開催される。この講習会は、文部省と人文科学研究所附属東洋学文献センターの共催で開催されるもので初級修了程度の漢籍知識を有する者を対象としている。

本年度は下記のとおり開催され、国公立大学11校、公共図書館4館、から合計20名が受講した。

記

第1日：11月26日（月）

開講式、オリエンテーション：文部省、人文科学研究所附属東洋学文献センター長

講演・ 「漢籍一般」 梅原郁（人文科学研究所教授）

講演・実習 「史部書」 礪波護（人文科学研究所教授）

第2日：11月27日（火）

講演・実習 「経部書」 小南一郎（人文科学研究所教授）

講演・実習 「子部書・敦煌」 高田時雄（人文科学研究所助教授）

第3日：11月28日（水）

講演・実習 「集部書」 荒井健（人文科学研究所教授）

見学・ 附属図書館

第4日：11月29日（木）

講演・実習 「叢書」 勝村哲也（人文科学研究所教授附属東洋学文献センター助教授）

講演・ 「蔵書家」 井波陵一（滋賀大学助教授）

第5日：11月30日（金）

講演・実習 「朝鮮本」 藤本幸夫（富山大学教授）

第6日：12月1日（土）

質疑応答

閉講式：人文科学研究所教授附属東洋学文献センター長

受講者から寄せられた主な感想は次のとおりである。

1. 漢籍を扱う際、たんに整理上の技術的な処理だけが問題になるのではなく、中国における書物というのは一体なんであるか、といった問題が大変重要であると思う。従って今回漢籍に対する基礎的な知識を教えていただいた事は大変有意義であったと考える。
2. 中国の文化伝統の重みと共に、漢籍というものを扱う際の困難さをも改めて感じさせられた。
3. 漢籍全体に対する知識を深め整理することができた。また実務に対して参考になるような内容も多かった。
4. 講義は面白く、また仕事に対する刺激を与えてくれた。

（人文科学研究所附属東洋学文献センター）

CD-ROM の利用方法の一部変更

8月下旬より、CD-ROM 出版物によるサービスを開始しました。（静脩1990年10月 Vol.27, No.2）

今までの利用方法には利用上の問題があったので、これを解消するためにチェンジャーを2個購入し、

チェンジャー1：〔日本語対応 端末機使用〕

朝日新聞全文記事情報、学術雑誌総合目録、国文学研究資料館蔵 マイクロ資料目録

AURORA on CD-ROM （青山学院大学蔵書目録）

チェンジャー2：〔外国語対応（アルファベット）端末機使用〕

Book in Print Plus. Ulrich's Plus.

をセットし、下記の時間帯はいつでも機械が立ち上がっている状態にしました。利用者は次の時間内ならば何時でも、自由に、手続きもなく利用できます。

記

（平日）9：00～12：00. 13：00～17：00. （土曜日）9：00～12：00

但し、「広辞苑」はチェンジャー1に、はいらないので利用者は従来どおりの手続きが必要です。

（参考調査掛）

京都大学附属図書館報「静脩」 Vol. 27, No. 3（通巻99号）1991年1月31日発行・編集：静脩編集委員会
（責任者 附属図書館事務部長）発行：京都大学附属図書館・京都市左京区吉田本町・☎075-753-2613